

平成 17 年 12 月 13 日

各 位

不動産投信発行者名

グローバル・ワン不動産投資法人

代表者名 執行役員 勝本 杉雄

(コード番号：8958)

問合せ先

グローバル・アライアンス・リアルティ株式会社

投信業務部長 山田 信幸

(TEL:03-3262-1494)

「構造計算書偽装問題」について

平成 17 年 11 月 17 日以降、国土交通省より公表されております「姉齒建築設計事務所（千葉県市川市）による構造計算書の偽装」に関連し、本投資法人が保有する全ての不動産について、姉齒建築設計事務所、及び平成 17 年 12 月 12 日までに国土交通省が公表した該当物件の設計者が一切関与していないことを確認しております。

また、本投資法人が保有する不動産の設計者及び許認可手続き等は下記のとおりです。

個々の不動産の耐震性能につきましては、物件取得時のデューディリジェンスにおいて第三者のリスク分析専門機関（応用アール・エム・エス株式会社）による耐震性の評価、地震リスク分析を行っており、全ての不動産について適切な耐震性能を有するとの評価を得ております。また地震リスク分析の結果は PML 値として算定され、各不動産の PML 値は下記のとおりです。

なお、高さ 60m を超える超高層建築物の安全性については、建築基準法等において大臣の認定を要すると定められており、そのため厳しい基準の適用や専門審査機関での評定取得など一般の建築物とは異なる安全性の確認、許認可手続き等が必要とされております。

記

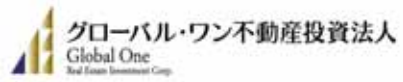
建物名称	設計者（注1） （設計年）	構造強度に関する許認可手続き等（注2）	PML値 （注3）
大手町ファーストスクエア	日本電信電話株式会社一級建築士事務所 エヌ・ティ・ティ都市開発株式会社一級建築士事務所 （1989年）	高さ60mを超える超高層建築物に該当し、「高層建築物構造評定委員会」の審議を経て財団法人日本建築センターより評定取得 建設大臣認定	3.0%
銀座ファーストビル	株式会社園田設計 株式会社熊谷組一級建築士事務所 （1995年）	1981年に改正された建築基準法の耐震関連規定等に準拠 東京都建築確認	6.9%
T K南青山ビル	株式会社日建設計 （2001年）	高さ60mを超える超高層建築物に該当し、「超高層建築物構造審査委員会」の審議を経て財団法人日本建築センターより構造安全性に関する性能評価取得 国土交通大臣認定	4.1%
スフィアタワー天王洲	株式会社アール・アイ・エー 鹿島建設株式会社 （1990年）	高さ60mを超える超高層建築物に該当し、「高層建築物構造評定委員会」の審議を経て財団法人日本建築センターより評定取得 建設大臣認定	4.9%
近鉄新名古屋ビル	株式会社日建設計 （1990年）	高さ60mを超える超高層建築物に該当し、「高層建築物構造評定委員会」の審議を経て財団法人日本建築センターより評定取得 建設大臣認定	3.2%
ポートフォリオ全体	-	-	3.1%

（注1）一般設計者及び構造設計者。

（注2）申請時期、規模等により許認可制度、規定が異なります。

（注3）PML：Probable Maximum Loss（予想最大損失率）

以上



本日この資料は次の記者クラブに配布しています：兜クラブ、国土交通記者会、国土交通省建設専門紙記者会

本投資法人のホームページアドレス：<http://www.go-reit.co.jp>